

開催報告

病診連携医会

7月22日(水)、ユアーズホテルフクイにおいて平成27年度病診連携医会を開催しました。腎臓・泌尿器科副部長 高田昌幸より「末期腎不全治療に対する取り組みー病診連携と腎移植ー」について、神経内科部長 高野誠一郎より「認知症診療の連携」について話題提供させていただきました。

当日は院内外102名の先生方にご出席いただき、大変盛況に会を終えることができましたこと心よりお礼申し上げます。



がん診療センター在宅症例検討会

8月24日(月)に平成27年度第2回がん診療センター在宅症例検討会を開催しました。今回は、「がん患者の生活の質を支えるために」というテーマに基づいて、外来治療期の支援について検討しました。実際の症例を通して、在宅での緩和ケアや精神的なケアの必要性、また予後告知に関しても多方面から活発な意見交換が行われました。

今回は12月7日(月)「がん患者が自身の病状を理解するために、私たちができること」をテーマとし、アドバンスケアプランニングの実践症例を基に検討したいと思います。より多くの皆様のご参加お待ちしております。



地域がん診療研修会

9月18日(金)、がんの早期診断や治療において活躍されている神戸大学医学部附属病院消化器内科講師 森田圭紀先生をお迎えし、地域がん診療研修会が開催されました。「早期消化管癌の内視鏡治療の現状と将来展望」と題して、講演いただきました。

院内・院外の医師を中心に多数の方々にご参加いただき、最先端の治療や症例の話を中心に聞いてもらいました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



行事予定

第3回消化器カンファレンス

日時/11月21日(土)15:30~
会場/福井パレスホテル3階「羽衣の間」
内容/学術講演Ⅰ 帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科医長 安田一朗先生
学術講演Ⅱ がん研有明病院 消化器センター 胃外科部長 比企直樹先生
※学術講演会終了後、意見交換会を予定しております。

地域医療連携交流会

日時/11月26日(木)19:15~21:40
会場/サバエ・シティーホテル
内容/学術講演Ⅰ 整形外科副部長 北折俊之
学術講演Ⅱ 眼科部長 小堀 朗
※学術講演会終了後、意見交換会を予定しております。

地域がん診療研修会

日時/12月4日(金)19:00~
会場/栄養管理棟3階講堂
講師/国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 緩和医療科 科長 木下寛也先生
演題/「地域連携促進のためのコミュニケーション」

がん診療センター在宅症例検討会

日時/12月7日(月)19:00~
会場/栄養管理棟3階講堂
テーマ/「がん患者が自身の病状を理解するために、私たちができること」

地域医療連携研修会

日時/12月12日(土)14:00~16:00
会場/栄養管理棟3階講堂
テーマ/糖尿病患者療養指導実践のヒ・ン・ト 変化ステージⅠ(導入から変化)
日時/平成28年2月6日(土)14:00~16:00
会場/栄養管理棟3階講堂
テーマ/糖尿病患者療養指導実践のヒ・ン・ト 変化ステージⅡ(維持増進と再発予防)
※詳細については後日ご案内予定です。
※上記はすべて地域医療連携課までお申込み下さい。

Partner

Japanese Red Cross Fukui Hospital

福井赤十字病院連携通信

パートナー vol.056

平成27年10月発行



当院のボランティアさんの作品

Topics トピックス

がんを考え、より良い支援の継続のために

9月5日(土)、6日(日)に開催された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ふくい」に、患者会のメンバーを中心とするがんサバイバーの皆様と参加しました。「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ふくい」は、全国で開催されているチャリティイベントです。「Save Lives」を使命に、がん予防や検診を呼びかけ、がん告知を乗り越え今を生きているサバイバーやそのご家族を讃え、がんで亡くなった愛する人を偲び追悼します。

今年はイベント開始前に、いくつかのがん患者会代表の方々企画した交流会がありました。普段交流することがない方々と賑やかにしゃべりができ、とても楽しかったと感想をお聞きました。サバイバーの方にとって、自身の体験を語る、聴くという機会の大切さを実感しました。

このイベントでは、夜通しチームの仲間とたすきを繋ぎウォーキングを行います。また、夜はルミナリエを点灯し、がんで亡くなった人を偲び闘っている人を励まします。

毎年、このイベントの時期になるとこれまで関わらせていただいた、がん患者さんやそのご家族のことを思い出します。がん相談支援センターのがん相談員として、がん患者さんやそのご家族の方、地域の方々にとどのようなお手伝いができるのか、今後もより良い支援ができるよう努力していきたいです。



福井赤十字病院

理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
- 安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
- 人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
- 急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
- 保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

地域医療連携課

受付時間/平日 8:00~18:30
土曜 8:30~12:30
TEL 0776-36-4110(直通)
FAX 0776-36-0240(専用)

福井赤十字病院

<http://www.fukui-med.jrc.or.jp>
e-mail renkei@fukui-med.jrc.or.jp

連携通信第56号発行
平成27年10月
福井赤十字病院



結ぶきずな 地域とともに

小児科の診療について 小児内分泌・代謝外来を 始めました



小児科部長
谷口 義弘

当科では、超未熟児、初発の血液悪性腫瘍、重症の心疾患、発達障害・療育等の一部の特殊疾患を除き、広く小児科一般の診療を行っています。現在、新たに月1回(学会等が無ければ第1金曜日午後)福井大学から小児内分泌・代謝専門医の応援を頂き、専門外来(予約制)を開始しています。低身長や思春期早発・遅発等、内分泌代謝関連でお困りの事が有ればご紹介下さい。

また、当院には小学部から高等部迄を有する正式な院内学級があります。どの科で入院していても、勉学の面でも対応しています(実際は医学の進歩で、長期入院の必要な疾患は激減していますが)。

当科の特徴として、腎臓専門医が2名おり、透析センターや泌尿器科と連携し、腎生検は勿論、幅広い腎泌尿器疾患に対応しています。学校検尿等の二次健診等で更に精査が必要な際はご紹介下さい。尚、日本小児腎臓病学会から、小児の検尿マニュアルが発行されました。蛋白尿の紹介基準は3歳児健診も学校検尿も尿蛋白/クレアチニン比上限が0.15g/gCrに変更になっているのでご注意下さい。

他に、肺機能検査・鎮静下MRI等、各種検査も実施しています。検査診断が必要な方は御相談下さい。食物負荷試験の実施やエピペン処方を含め、喘息・アレルギー疾患も継続して診療しています。診断や、除去・解除等でお困りの際はご紹介下さい。

食物アレルギーに関しては最近、御存知の様に20年前と比べ、「徹底的に除去」から「可能なら負荷」へ大きく方針に変化が出て来ています。吸入感作やアトピー性皮膚炎での経皮感作を避け、スキンケア等を実施しながら経口耐性誘導を早めに進めるのがコンセプトです。安全性の担保にきっちり腐心することがポイントです。

福井は共働き家庭が多く、大きな病院にばかりかかる事は現実的では有りません。病診連携がますます、大切になってきます。困った症例等をご紹介頂く際に、当科の担当範囲のご希望が有る場合は具体的に(初期検査だけ、定期検査、処方内容決定迄、定期的の方針決定、基礎疾患は当科で一般急性疾患はかかりつけ医でと分業等々)指示を頂いて利用して頂ければ幸いです。また、休日・時間外の御紹介はいつでも受け入れていますのでご相談下

さい。小児輪番日(祝日を含む毎月木)は、小児科医による救急車対応が可能な様に院内待機しています。お役に立てれば幸いです。



福井県立福井東特別支援学校月見分校



小児科スタッフ

アイセンターEye Center (日帰り手術センター Day SurgeryCenter)開設



眼科部長
小堀 朗

2015年4月に新設された先進中央棟3階にアイセンター(日帰り手術センター)ができました。年間2000件を超える北陸でも最大の眼科手術件数に対応するべく眼科手術に適した設計にしました。主に眼科が使用しますが、他科の日帰り手術にも使用しております。

術前術後のケア専用ベッド設置

手術室の隣にベッド8台を設置し、手術前の準備から手術後のケアまで専任のスタッフがを行います。手術を受けられる患者さんの家族用に部屋も設けました。

最新の白内障手術機器を使用

福井県初導入の最も先進的な白内障手術システム 超音波水晶体乳化吸引装置 (Centurion Vision System)により、さらに安全な白内障手術を行うことができます。1.8mmの極小切開にて超音波水晶体乳化吸引と眼内レンズ挿入を行います。手術による乱視を無くし、感染の危険を減らし、目の負担を減らします。白内障手術だけではなく、外眼部手術(眼瞼下垂、翼状片、眼瞼腫瘍、内反症、斜視手術など)、近視矯正手術(PRK、LASIK、眼内コンタクトレンズICL)、緑内障手術、網膜硝子体手術などもアイセンターで行うことができます。

手術教育も充実

手術カメラは3D対応であり、スタッフは手術状況を立体的に深く理解できます。手術見学や福井大学のポリクリ実習を3Dglassを用いて行っており大変好評です。モニターのみにて手術するHeads Up Surgeryや3D録画も実施しています。

